



2026年6月3日

各 位

会社名 株式会社 内 田 洋 行
代表者名 代表取締役社長 大 久 保 昇
(コード番号 8057 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員
財務グループ統括兼経営企画・総務担当
佐藤 将一郎
(TEL. 03-3555-4066)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年9月2日に公表いたしました2026年7月期通期の業績予想及び2026年3月4日に公表いたしました配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2026年7月期通期業績予想数値の修正

(2025年7月21日～2026年7月20日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	418,000	15,400	16,300	10,800	219円02銭
今回修正予想 (B)	421,000	15,400	16,300	11,500	233円22銭
増減額 (B-A)	3,000	0	0	700	—
増減率 (%)	0.7%	0.0%	0.0%	6.5%	—
ご参考 前期実績 (2025年7月期)	337,055	12,174	13,126	9,825	199円45銭
対前期増減率 (%)	24.9%	26.5%	24.2%	17.0%	—

(注) 当社は、2026年1月21日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、公共市場において、GIGAスクール構想に伴う端末更新需要の取り込みが大きく伸長し、教育機関向けネットワーク構築案件の受注も好調に推移しました。また、民間市場においても大手企業向けICTソリューションの提供拡大等により、売上高は当初業績予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、自治体システム標準化案件の一部が翌年度へ延伸したことに加え、GIGAスクール関連案件に伴う将来のサポート費用等について製品保証引当金を先行して計上したことによる利益の押し下げ要因があったものの、好調な事業の増収に伴う利益増加によりこれらの影響を吸収した結果、営業利益および経常利益は当初業績予想と同水準となる見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、株式売却益の計上もあり、当初業績予想を上回る見込みとなりました。

なお、修正後の業績予想における売上高及び各利益項目は、大幅な増収増益により、いずれも過去最高となる見込みです。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (2026 年 3 月 4 日)	—	66 円 00 銭 (株式分割前換算 330 円 00 銭)	66 円 00 銭 (株式分割前換算 330 円 00 銭)
今 回 修 正 予 想	—	72 円 00 銭 (株式分割前換算 360 円 00 銭)	72 円 00 銭 (株式分割前換算 360 円 00 銭)
当 期 実 績	—		
前 期 実 績 (2025 年 7 月期)	—	300 円 00 銭	300 円 00 銭

(注) 当社は、2026 年 1 月 21 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 5 株の割合で株式分割を行っております。上記の前期実績は当該株式分割前の株式数を基準に記載しております。

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主様への還元につきましては、安定的な配当を前提に「財務基盤の充実」と「中長期的な会社の経営戦略の実現に向けた投資」とのバランスをとり、その一層の充実を目指すことを基本方針としております。

2026 年 7 月期の業績につきましては、業績予想の修正の理由にありますとおり、順調に推移しておりますことから、上記の還元方針にもとづき、2026 年 3 月 4 日に公表した 1 株当たり普通配当 66 円から 6 円増配し、1 株当たり 72 円とすることといたしました。

なお、本件につきましては 2026 年 10 月 10 日開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

※本資料に記載されている業績予想および配当予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績及び配当は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上